

平成25年度 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	亀田清掃センター附属休憩所及び運動公園		
管理者名	愛宕商事・グリーン産業グループ	指定期間	平成23年4月1日 ～ 平成28年3月31日
担当課	廃棄物施設課		
所在地	新潟市江南区亀田1835番地1		
根拠法令	地方自治法第244条の2第3項		
設置条例	新潟市廃棄物処理施設附属施設条例		
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> ● 休憩所(敷地面積 2,200㎡) 施設規模 構造 鉄筋コンクリート造平屋建 延床面積 808㎡ 建築面積 868㎡ 施設内容 <ul style="list-style-type: none"> ・休憩室(85畳) ・多目的ホール(85㎡) ・浴場(ジェットバス機能)×2 ・更衣×2 ・ロビー ・ドリンクコーナー ・事務室 ・駐車場46台 	<ul style="list-style-type: none"> ● 運動広場(敷地面積 27,100㎡) 施設規模 (一面)11,403㎡ 施設内容 ・運動広場 (軟式野球場とサッカー場兼用) ・芝生広場 ・用具室 ・ランニングコース(1周約450m) ・トイレ ・遊具 ・駐車場30台 (一般廃棄物処理場用地) 	

施設設置目的
<p>ごみ焼却場の余熱を利用した入浴設備を備えた休憩所(田舟の里)と遊具や野球場とサッカー場を兼用できる運動広場を備えた運動公園で地域住民のレクリエーション施設として健康増進と憩いの場を提供することを目的として設置</p>
管理・運営に関する基本理念、方針等
<ol style="list-style-type: none"> ① 施設の設置目的を理解し、魅力ある施設運営を目指すための運営方針及びサービス提供、地域経済への貢献、効率的な考え方、そのほかこの業務に関わる独自のアイデアを有する。 ② 公の施設の管理運営を安全かつ継続して行える能力及び財務体質を有する。 ③ 個人情報保護のための管理体制が整っている。 ④ 業務に見合った管理体制で職員の資質向上のための定期的な研修等ができる体制が整っている。 ⑤ 施設の現状を踏まえ、継続的な維持管理が行い施設内の衛生管理及び浴室等のレジオネラ属菌対策等を適切に行う。 ⑥ 施設の設置目的を踏まえ、施設全体の利用促進とサービス向上の工夫、特に多目的ホール等の利用率増加に向けた取り組む。 ⑦ 遊具等付帯設備・備品類の安全点検及び緊急時に備えた各種訓練を定期的に行い、そのほか災害・事故等の予防策を考え、緊急時に対応する体制を整える。 ⑧ 利用者の声に的確に応えるなど施設の信頼性向上に取り組む。 ⑨ 事業計画に沿った内容で経費を算定している。 ⑩ 経費の削減に取り組み、市が支払う管理費用を抑える事業計画となっている。

視点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
市民	広報の充実	自主事業広報掲載等を10回以上	広報開催10回以上、ホームページ開設	A	新規の自主事業はHPに掲載するなど積極的な広報活動をしていた。
	目標利用者数の達成	年間利用者数が24年度実績50,422人以上	52,942人	B	前年度比5%増を記録した。
	多目的ホール達成	年間利用時間数が24年度実績202時間以上	144時間	C	PR活動や自主事業と連動して、実績が伸びるよう努力を求める。
	個人情報保護の管理体制	管理体制が整っているか。	個人情報保護研修を実施し、職員の意識向上に努めた。	B	利用者との親睦も大事だが引き続き適切に実施していただきたい。
	利用者からの要望や苦情の対応	アンケート等を年1回以上行っているか。	適切に実施	B	臨時休館時などには、来館者に、より丁寧な対応を望む。
	利用促進とサービス向上	自主事業等を年30回以上、参加人数300人以上	65回開催し621人の参加	A	田舟の里まつり・ヨガ教室等のイベント開催や地元農家野菜販売等で利用者の促進を図っていた。
財務	各費目の設定内容の妥当性	事業計画に沿った経費で算出し費目毎80%以上の執行率	費目毎90%以上の執行率であった。	A	予算配分どおりの執行であった。
	経費削減の工夫	管理費用を抑える事業計画を行っているか。	浴室シャワー節水機設置。蛍光管間引き省エネに努めた。	A	利用者が負担にならない程度にこまめな節水・節電を実施した。
	管理運営経費の削減	管理運営費を年25,628千円以下	24,864千円	A	運営経費が削減された。
	市の歳入の増加	使用料収入が24年度実績8,496,200円以上	8,855,500円	B	前年度比4.2%増を達成した。
業務	施設の維持及び衛生管理	継続的維持等とレジオネラ属菌対策対応を年2回以上している。	レジオネラ属菌対策出配管洗浄を年3回実施	A	レジオネラ属菌対策対応を年2回から3回に増やして衛生対策を行った。
	災害・事故等の予防及び緊急時対応	遊具等付帯設備の点検を月1回以上、及び各種訓練年1回以上を行っている。	遊具点検12回実施・AED救命対応・災害及び消防訓練を各2回実施している。	A	点検・訓練の回数を増やし安全の徹底を図った。
	事件・事故発生時の対応の適切	事故が生じた場合速やかに対応したか。	体調不良者を速やかに対応し、緊急事故を行った。	A	対象不良者の対応については、マニュアルどおり対応出来ていた。
人材	管理体制	業務に見合った管理体制であるか。	交代勤務表どおりに実施した。	A	計画どおりの管理体制で業務を実施できていた。
	職員資質の向上	定期的な研修等を行っているか。	接遇研修やミーティングなどで職員の意識向上に努めた。	B	利用者の対応に必要な研修等を積極的に実施する事を望む。

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

グラウンド及び公園内の除草・植栽管理とランナーズ花壇等の植込みの充実を図り、併せて多目的ホールの利用促進に取り組んでいきたい。

所管課による総合評価(所見)

東区に新規入浴施設が設けられ、また昨年度から亀田清掃センター基幹改良工事に伴い臨時休館が増え、利用者の本来の伸びがなかったが、自主事業やホームページ等でPR活動し、利用を促しているものと評価する。

また、運営管理に基本的なノウハウは十分に積んでいるので、今後は、多目的ホールの利用促進を図ってもらいたい。